

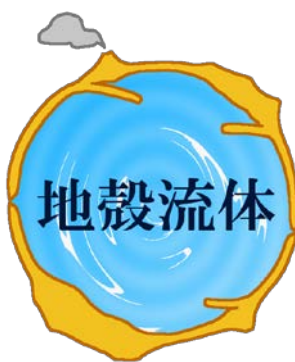


整理番号	HT25009	分野	地学、自然	(キーワード)熱水, 地震, マグマ
------	---------	----	-------	--------------------

東北大学

地下深部の水～地震や火山噴火を起こす黒幕の姿を見てみよう～

先生(代表者)	中村 美千彦(なかむら みちひこ)大学院理学研究科・教授			
自己紹介	<p>「日本沈没」のTVシリーズで、四輪駆動車に乗って現場にかけつける主人公小野寺俊夫や田所博士にあこがれて、地球の研究を始めました。石や鉱物、山歩きも大好きです。</p> <p>研究室ホームページ: http://epms.es.tohoku.ac.jp/arcmag/index.html</p>			
開催日時・主な募集対象	平成25年8月3日(土)	(対象)	高校生	(人数) 16名
集合場所・時間	東北大学理薬キャンパス合同A棟 204号室		(集合時間)	10:00
開催会場(集合場所)	東北大学理学部 (仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3) アクセスマップ: http://www.es.tohoku.ac.jp/JP/access/index.html キャンパスマップ: http://www.sci.tohoku.ac.jp/2012/10/17/map.pdf			
内 容				
<p>地球の内部(地殻やマントルの浅いところ)では、岩石の隙間が熱水で満たされていて、それが地震を起こしたり、マグマを発生させるのに大きな役割を担っています。本プログラムは、実際の研究で使われている装置を用いて実験を行い、そこから得られたデータを基に、地球内部の高温高圧状態における水の存在状態について考察します。</p> <p>プログラムの最初と実験・実習の後に講義を行い、実験・実習の背景・目的と、実験結果の解説を行うとともに、大学の講義の雰囲気を経験してもらいます。体験学習として、次の4種類の課題を行ってもらう予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 鉱物や火山ガラスに含まれている水を、光の吸収を使って分析します。 ② 地球深部から直接もたらされた岩石の粒間に含まれていた流体(水)の形を、X線CTで観察します。 ③ 結晶構造の中に水をたくさん含む鉱物を加熱・分解して、水を取り出してみます。 ④ 岩石を熱水と一緒に溶かして、マグマを作ってみます。 <p>参加者は4名程度の班に分け、ローテーションで各課題を体験できるようにします。</p>				
実験風景				
				

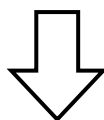
スケジュール	持ち物
10:00～10:30 受付:青葉山・理薬キャンパス合同A棟 (建物番号 H-02) 2階 204 講義室	筆記用具、昼食を持参してください。
10:30～11:00 開講式(科研費の説明、日程説明、参加者のグループ分け、自己紹介)	
11:00～12:00 講義①『岩石や鉱物内部の水と、その地球のダイナミクスに対する役割について』	特記事項
12:00～12:40 大学院生・教員と一緒に昼食	
12:40～14:30 実習ローテーション①・②	
14:30～16:20 実習ローテーション③・④	
16:20～16:50 クッキータイム: 茶菓を食べながら、参加者間で実験結果についての議論	
16:50～17:20 講義②『実験結果のまとめと考察』	
17:20～18:00 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)	
18:00 終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名 :	東北大学理学研究科地学専攻 中村美千彦
住所 :	〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
TEL 番号 :	022-795-7762
FAX 番号 :	022-795-7762
E-mail :	nakamm@m.tohoku.ac.jp
申込締切日 :	平成25年8月1日(木)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
中村美千彦	H21-25	新学術領域研究	21109005	地殻流体の形態と物性
中村美千彦	H21-24	基盤研究(B)	21340155	火山噴火様式の分岐を支配する火道浅部脱ガス機構の研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。